

ネイチャーセンターだより



春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

センダイムシクイ

英名: Eastern Crowned Leaf Warbler 学名: *Phylloscopus coronatus*



夏になると、子育てのために南から渡ってくる夏鳥です。スズメより小さなウグイスに似た鳥で、渋い黄緑色の体をしています。

葉のしげった木を好むため、姿を見つけることはなかなか難しいですが、その特徴的なさえずりは森の中で、よく目立ちます。「チヨチヨビー」とさえずる声は、「焼酎一杯、グイー」と聞きなされています。



ネイチャーセンター日記

陽射しも日に日に暖かくなり、春の訪れを感じるようになってきました。土の中からアキタブキが顔をのぞかせ、ネイチャーセンターの前ではフクジュソウの黄色い花が見頃を迎えました。

そんな初春の花々の開花に誘われたのが先日、春国岱でタテハチョウの仲間に出会いました。彼らの仲間は冬の間、成虫のまま越冬します。ポロポロの翅は、厳しい冬を生き抜いた証拠。これから新しい命を育てていく彼らに「頑張れよ!」と思わず熱いエールを送ってまいりました。



～春国岱クイズ～

春になると、たくさんの卵を産むエゾアカガエル。大人のカエルたちはふだん、どこでくらしているんだろう？

1. 池や川などの水の中
2. 森の中のじめじめした場所

3. 海辺

ヒント

大人と子ども（オタマジャクシ）でくらす場所がちがうよ。



答えは来月号

(先月号の答え 1. 昆虫やクモ)

ネイチャーセンターからのお知らせ

新しいレンジャーのご紹介

4月2日から、根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターのレンジャーとして働いています、大熊千晶(おおくまちはき)です。3月までは、同じく道東の鶴居村にある施設「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」で勤務していました。このたび、タンチョウの越冬地である鶴居から、春のタンチョウの移動とともに、繁殖地である根室にやってきました。

タンチョウたちとの再会ももちろんですが、根室を取り巻く豊かな自然、そして多くの方々との新たな出会いを楽しみにしています。まだ知らないこともたくさんありますが、新しい発見を喜びとし、がんばっていきたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

「クマさん」と
気軽に呼んでくださいね!



双眼鏡 J-ワ ジェネシス 33 体験実施中!

ネイチャーセンターに新しい双眼鏡が導入されました。これは、コーワの新製品「GENESIS 33」で、口径 33 ミリのコンパクト双眼鏡です。視野広い、クリアな見え味を楽しむことができます。

館内での貸し出しも行っておりますので、是非一度、お試しください。



ボランティアの活動

■施設ボランティアグループ「スルク」 総会の開催■

4月18日ネイチャーセンターでスルクの総会を開きました。昨年度の事業を振り返った後、「さて、今年はどういう活動をしようか?」と、みんなでわいわいと話し合いました。

主な活動 みんなで自然を楽しむ「ネイチャーセンター祭り」を開催

自然学習林の木を守る「エゾシカ プロジェクト」を継続

春国岱の自然観察とゴミ拾いのイベント「Love EARTH CLEAN UP」を開催

他にも調査活動や観察会補助などを行うことになりました。今年の活動予定をたて総会を終りました。イベント参加者の募集を随時お知らせしますので、ぜひ足を運んでみてください。

フィールドボランティア募集中!!

風蓮湖・春国岱で活動しませんか?

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

対象：高校生以上

保険料：300円(年間)が必要となります。



【お問合せ】電話 0153-25-3047

自然観察路周辺の自然情報 * 5月 *



ノビタキ

オオジュリン

オオジュリンやノビタキのオスが美しい歌声を披露してくれています。オオジュリンは細い草を足場に移動するので、なかなか見つけずらいですが、時折、せわしくエサを運ぶ姿を見せてくれています。



オジロワシ

ほとんどのオジロワシは北へ渡っていきましたが、少数は北海道に残り子育てします。魚を求めて干潮時の干潟に降りている姿が見られます。



タンチョウ

タンチョウのつがいの子育てに大奮闘中！この時期は、とても神経質になっているので、見つけても近寄らずにそっと見守ってあげてください。

小鳥たちは恋の季節。カラ類に加え、次々と到着する夏鳥たちが森に新たなにぎわいをそえてくれます。彼らの美しいさえずりに、ぜひ、耳をすませてみてください。



ミスザサイ

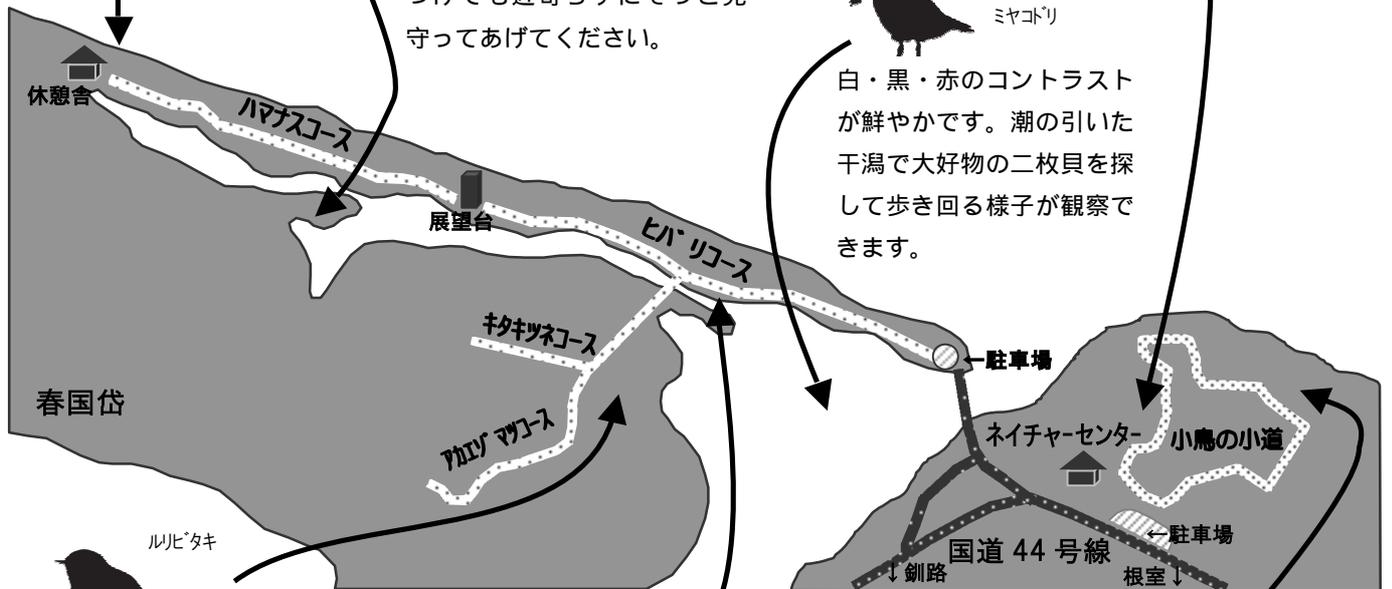


カラ類



ミヤコドリ

白・黒・赤のコントラストが鮮やかです。潮の引いた干潟で好物の二枚貝を探して歩き回る様子が観察できます。



休憩舎

ハマスコース

展望台

ヒバリコース

キキツネコース

アキヤマコース

駐車場

ネイチャーセンター

小鳥の小道

← 駐車場

↓ 釧路

↑ 根室

春国岱

ルビタキ



ヒバリ



森にすむ夏鳥で、春国岱ではアカエゾマツコース周辺の針葉樹林でよく見ることができます。オスは「ヒヒョロリ」と、とても早口にさえずります。

春国岱を歩いていると、草原のあちこちから飛び出てきます。これから8月頃まで、空高くから鳴き声を聞かせてくれることでしょう。



お花

花の数が増えていきます。オオバナノエンレイソウやエンコウソウが咲き始め、ミスバショウ、スミシ、エゾエングサクが見頃を迎えます。



蝶

暖かな陽気にさそわれ、昆虫たちも活動を始めます。成虫のまま越冬していたクジャクチョウやアカマダラをはじめ、これから蝶の数も増えていきます。

自然学習林の池では、エゾアカガエルのおたまじゃくしが泳ぎはじめます。また、この池では、エゾサンショウウオも産卵をしています。

エゾアカガエル



イベント・展示情報

★春の森で小鳥に会おう！

子育てのために春国岱にやってくる、森や草原にすむノビタキやカラ類、キツツキ類など鳥たちの姿や暮らしを観察します。

日時：5月24日(日) 7:00～9:30
*雨天中止

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員：20名

集合場所：根室市春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター1階

持ち物：外を歩ける服装、あれば双眼鏡・望遠鏡、図鑑

参加費：保険代100円

申込み：5月17日までに電話にて受付
(先着順)



親子の参加、
大歓迎です！！

★タンチョウイラスト展

根室・釧路管内の小中学校などから応募があったタンチョウのイラスト(ハガキサイズ)を館内に展示します。

日時：6月1日(月)～6月30日(火)
9:00～17:00

対象：どなたでも

場所：根室市春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター1階

観覧料：無料

申込み：不要

個性豊かな力作ぞろい！
ぜひ、見に来てね♪



【お申込み・お問合せ】 電話 0153-25-3047 (春国岱ネイチャーセンター)

団体の方へ～解説プログラムのご案内～

- 事前にお申し込みが必要です。
- 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
→詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



- ① 野外解説・自然学習 (～2時間 / ～20名)
- ② 春国岱の自然(映像) (15分～25分 / ～45名)
- ③ 自然クイズラリー (約1時間 / ～50名)
- ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム (0.5～2時間 / ～20名)
- ⑤ 施設概要説明 (30分～2時間 / ～45名)

～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。
連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
- 電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570
- HP■ http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
- メール■ nemu_nc@marimo.or.jp
- 5月の開館時間■ 9:00～17:00
- 5月の休館日■ 7・8・11・12・13・14・15・20・27日